

# Forest通信 令和元年 10

No.368

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター



## 高尾山の生きものたち

### アサギマダラ

(タテハチョウ科)



透き通るような翅で、ふわふわと優雅に飛ぶ。浅葱色のステンドグラスのような翅がすがすがしい。高原や山地で、よく道脇を飛んだり、花に止まったりして、高尾山でもときどき出会う。

渡りをする蝶で、冬の間は、沖縄など南方に棲み、春に北上し、夏は本州の山地などで繁殖する。そして、秋には新しい世代が、渡り鳥のように、南に渡る。小さな身体だが、海を越えて飛んでいくだけの強靱な胸の力がある。食草は、高尾山にもあるキジョランなど。有毒成分が含まれるので、アサギマダラにも毒がある。ゆっくり優雅に飛ぶのも、この毒で襲われない安心感があるからだろう。このような優雅で強い蝶も、日本の森が育んでいる。

(写真・文 森林インストラクター 藤原 裕二)

富 ちゃん 皿 ちゃんの



NO.48

## ウツギとキブシ

ウツギとキブシの共通点は何か。両方とも随が中空になる点である。キブシは白い随があるがこれを抜くと中空になる。次は材が乾燥すると堅くなることである。この利点を生かして、昔から利用されてきたものがある。

火起こしの火切り杵と呼ばれる棒である。火切り臼と呼ばれる板は軟らかいスギが用いられている。火起こし方法にもいろいろなやり方があるが、古代日本列島（北海道はのぞく）では縄文時代よりも古い時代から行われていたと推定される方法としてキリモミ式がある。丸く焼けた穴が残る木板片が本州や九州から出土（すべて弥生時代以降に限られるが）しているので、大昔の人が火を起こす方法として行っていたことが推測される。

実際にキリモミ式火起こしをやってみると意外と難しかったりするが病みつきになってしまう。

体力だけでなく技も必要になってくる。火種が出来たら炎にするのに麻縄を細かく解したものを使用する。息を吹きかけて火種を確保しながらグルグル回して炎にする。

なお、古代発火法検定協会があり岩城正夫氏が理事長を務めている。ホームページがあるので火起こしに関心のある方は検索してみてください。

以前当センターでも、江戸時代中ごろから神社などで使われ出した、マイギリ式火起こし機を使い、炭焼きイベント等で子供たちに指導したこともあった。（富）



火きり杵

火きり臼



炎



キリモミ式火起こし

## 森林教室 大田区立 赤松小学校

大田区立赤松小学校5年生70名の森林教室を、9月12日（木）に森林ふれあい館で実施しました。

午前中は、館内で森林の働きや林業についての講義を行いました。中でも、センサーカメラで写した高尾に暮らす動物たちの写真は人気があり、「森林観察の時に出会えるかな」との声があがりました。講義後は、外に出て丸太切りにチャレンジ。太めの丸太に挑んだ児童は、四苦八苦しながらもなんとか切り終えました。

昼食後、森林観察に出発。間伐前後の森林の違いや、先日の台風で折れたヒノキを間近に見たり、葉っぱの香りを比べたり、沢水の冷たさ等を確かめつつ森林内を観察しました。特に、職員でも見る機会の少ない、子ガニを抱えたサワガニを見つけた時は大きな歓声が上がリ、児童だけでなく、先生も喜んでいました。

午前の学習、そして森林観察の時でも、話を聞きながら一生懸命メモをとる様子からは児童の熱心さがうかがわれました。本日学んだことをきっかけに、森林や林業、環境問題など様々な分野に関心を高めていただければありがたいです。（高）



森林の働きや林業について学習



沢水の冷たさに「気持ちいい！」

## 森林教室 東京都立 石神井特別支援学校

前日の雨も嘘のような快晴の9月19日（木）、東京都立石神井特別支援学校の中学1年生25名と先生方16名が森林ふれあい館にバス2台で来館しました。

開校式のあと、3班に分かれ森林観察に出発。森林の中を散策するのは初めての生徒もいて、森林や植物の説明を受け、カツラの甘い香りや、コクサギのちょっとくさい臭い、スギの葉っぱのチクチクする触覚、鳥のさえずり、沢水の冷たさを感じて、生徒の皆さんもビックリしたり、喜んだり、中には蜘蛛を見て泣き出してしまふ生徒もいましたが、日常とは違う景色を楽しんでいただけたと思います。

森林観察を早めに終了した班は、丸太切り体験や環境に関するビデオ鑑賞などを楽しみました。

丸太切りでは、初めて触るノコギリでギコギコ、慣れない手つきながらも、みんな上手に切り落とすことができました。

森林観察で体を動かした後の昼食なので、いつも以上においしい昼食だったようです。

閉会時には、生徒さんから「水が冷たくて気持ちよかった」、「楽しかった」等の感想をいただきました。（皿）



きれいな花も見ることができました



みんな上手に丸太切り

## 森林教室 八王子市立 片倉台小学校

9月27日（金）片倉台小学校の5年生45名が森林教室にやってきました。

午前中のプログラムは森林学習と丸太切りです。森林学習では地球温暖化の話や森林・林業の勉強などで、ちょっと神秘的な面持ちでしたが、丸太切りでは楽しそうな笑顔と歓声が聞こえていました。しかし今回の丸太はちょっと太めのヒノキだったので、さすがの八王子育ちの子供たちも苦戦している様子でした。

午後のプログラムは、森林観察です。残暑もやっと落ち着いて、さわやかな空気のなかでの散策となりました。途中耳を済ませると、様々な鳥たちの声が聞こえてきました。また、沢の小さな流れの中ではサワガニを見つけて大喜びしました。そして、カツラの落ち葉から香る甘い香りにも興味津々。約2時間弱の散策でも子供たちは疲れ知らずの様子でした。

閉会式では児童たちからのお礼の言葉の中に「適切な対応をしていただきありがとうございました」という、小学生とは思えない言葉を頂き、センター職員とボランティアの方々もびっくり仰天！無事に一日を終えて帰路につきました。今後センターは森林教室の最盛期を迎えます。多くの子供たちに感動を与えることができればいいなと思った一日でした。（磯）



太めの丸太だけど上手に切れるよ！



森にすむ生き物の話に熱中

### 一般公募イベント参加者募集中

## 「つるかご編み」

木の成長を妨げる「つる」を利用してかごを編んでみましょう

開催日時:令和元年11月9日(土)10:00~15:00

応募締切:令和元年10月21日(月)必着

応募方法等詳細は当センターホームページをご覧ください。

### 一般公募イベント参加者募集予告

## 「炭焼き体験と花炭づくり」

炭焼き体験（竹炭）と花炭づくり、つるを使った簡単な炭入れを作ります

開催日時:令和元年12月15日(日)10:00~15:00

応募方法等詳細は当センターホームページで公開予定です。

## 職場体験 八王子市立 横山中学校

9月5日（水）～7日（金）の3日間、八王子市立横山中学校2年生の女子生徒3名が職場体験にやってきました。女子生徒だけの職場体験は初めてのことでどんな体験をさせようか迷いましたが、「何でもやります。色々なことを体験してみたいです。」との要望に応え、これまで職場体験に訪れた男子生徒と同様、森林教室等の事前準備作業を中心に、間伐、林道の草刈り、森林観察コースの確認や、センサーカメラのデータ回収、林野巡視等の体験をしてもらいました。森林教室用の丸太を確保するための間伐作業では、急傾斜地で不安定な足場に苦労しながらもそれぞれが1本の木を切り倒し、2mほどの長さに切った丸太を林道まで運び出してくれました。初めての体験で、しかも力仕事のため大変苦労したようですが、木が倒れる様子、倒れたときの音に感動し、非常に達成感があったとのこと。今回の体験の中で一番印象に残ったそうです。

この3日間は非常に厳しい残暑の中ではありますが、3名とも植物や自然に興味があるとのこと。当センターでの職場体験を希望し、希望どおりに職場体験に来れたとあって、3日間一生懸命に取り組んでくれました。

女子生徒だけの体験に、指導する職員（おじさん達）は戸惑いながらの3日間でしたが、「この3日間はすごく貴重な時間だったし、

楽しかった。」との感想に、嬉しくもありちょっと優しすぎたかなと思いつつも、何事もなく3日間を終えることができ、安心した今回の職場体験となりました。（谷）



みんなで受け口位置の確認



センサーカメラのデータ回収



「えいやっ！」薪割り

### 編集後記

ゲンノショウコが花盛り。果実もちらほら目につきます。

果実が分離し、別名「ミコシグサ」の名の通り御神輿の形になった姿も見る事ができます。



ゲンノショウコ（分離果）

### Forest通信 NO.368

発行：林野庁関東森林管理局  
高尾森林ふれあい推進センター

ご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問い合わせ先  
高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 050-3160-6040 FAX 042-663-7229

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

